

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン留学プログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今回のオンライン留学を通して、外国人と会話している時に、自分の伝えたいことをどのような表現をすればよいかかわからず、困ったことが何度かあった。そのような時に、大切なことは相手も私が英語を話すことが完璧ではないということを知っているから、多少の間違いを気にすることなく、自身をもって会話することだと思う。私が外国人と日本語で話す時に、たとえ文法などのミスがあっても相手が堂々と話しをしていれば話している内容は理解できることと同じだと考える。今回の留学後には、私は英語を話すことを躊躇うことなく、自身をもって話すことができるようになった。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私自身も、現地の学生の方との交流前は、フィリピンのことについてあらかじめ調べて交流会に臨んだ。現地の学生の方も日本のことについてとても詳しく知っておられたため、会話がスムーズに進んだが、私自身が日本のことについて尋ねられた際に、答えられないことが何度かあった。基本的な日本文化などは知っているが、方言のことに対する質問や日本国旗の意味など想定外の質問が何度かあった。現地の方は、日本に家族が住んでおり、何度も来日経験がある方であったため、基本的なことは知っておられたようだ。私もそのようなことを想定して、準備をしておくべきだった。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>一番のメリットは、新型コロナウイルスの感染を気にすることなく、授業に臨めることだ。海外は日本とは異なり、マスクを着けずに行動している人がほとんどで、日本よりも感染する危険性が高いと感じる。私自身も最初は、渡航型の留学に参加しようと考えたが、感染の可能性を考慮し断念した。</p> <p>デメリットとしては、3 週間の授業内で受けた講師の方とより密接な関係を持つことが難しかった点だ。私はコロナ前にオーストラリアに短期留学に行ったことがある。そこで出会った方々とは、連絡先を交換したり、休憩時間に日本文化にまつわるおもちゃなどを使って交流を深めたりできたが、今回はオンラインということもあり、そのようなことはできなかった。</p>	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
<p>オンラインで行っているということや、1日の5時間英語を話すという経験がなかったため、非常に疲れたということもあり、2 週目の頃は、授業を受けるのが憂鬱だなと感じることがあった。そのような時は、どうして今、自分はこれを受けているのか、自分は将来どのような人間になりたいのかということを確認して、その夢をかなえるためには今、頑張るしかないという気持ちで取り組んだ。例えば、私は将来外国で働き、たくさんの外国人と仲良くなりたいという夢がある。その夢に向かって、今、英語力を上げたいという気持ちの下、積極的に先生に話題を振って、このプログラムを最大限活用した。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前は、これまで外国人の方とお話する際に、自分が話す英語に自信がなく、積極的に英語で反しかけることができなかった。また、リスニング力が高くなかった。そのため、今回の留学では、英語を自身をもって話せるようになること、リスニング力を向上させることを目標として取り組んだ。最初の1 週間は、なかなかうまく会話を続けることが厳しかったが、講師の先生方が多少の英語のミスがあっても話している英語の意味を理解してくれることがわかり、徐々に話すことができるようになってきた。そして、3 週間後には間違いを気にすることなく、会話をするようになっていった。リスニング力に関しては、聞く力が必要なのはもちろんであるが、前提として知っている単語の量を増やす必要があるため、残りの夏休み期間で単語の量を増やすことに取り組むたい。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学夏季オンライン短期研修
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
レッスンでは、毎日異なるトピックについて会話したり、発音練習をしたりした。会話では、文化の違いや環境問題など、日本語でも難しい内容を英語で伝えることに苦戦したが、難しい単語を簡単な言葉に置き換えるなど工夫して、英語で伝えられた。またグループレッスンでは、他の生徒さんの意見を英語で聞き、自分の意見と照らし合わせることもできた。発音練習では、発音記号や似た発音の英単語の聞き分けを学んだ。毎日 5 時間も英語を母国語とする現地の先生方と会話し、教えて頂いた発音記号や舌を巻くなどの発音方法を実践することで、私の英語の発音も少しはネイティブに近づけたように感じる。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
3 週間の留学プログラムの中で 2 回だけではあったが、現地の学生の方と交流する機会があった。その際には、お互いの国や国民性、文化や風習、郷土料理などについて話した。まずフィリピンの国旗には、白に平等、青に平和、赤に勇気という意味があることを知った。そして、フィリピン人のほとんどがキリスト教信者で、その多くがカトリック信者であることも教わった。フィリピンの料理は濃い味付けが特徴だそうだ。特に驚いたのはフィリピンタイムというものがあり、皆が時間にルーズで、マイペースに生活しているということだった。日本での当たり前がフィリピンでは驚きの文化であったり、その逆もあったりと、大変興味深い内容だった。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
オンライン留学のメリットは、実際に現地まで足を運ばなくて良いため、学ぶ場所へ向かうための時間やお金がかからないことだ。また、この留学プログラムは 3 時に終わるため、その後に予定を入れるなど、プライベートを犠牲にしないでよいことだ。オンライン留学のデメリットは、パソコン上での会話であるため、電波が安定しないと長時間画面が固まってしまう、授業時間が削れてしまったり、画面越しであるため、発音する際の口の動かし方が鮮明に分からなかったりすることなどだ。また、現地で実際に生活するわけではないため、現地の日常生活を味わったり、現地の文化や風習を体感することができなかったりすることだ。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
オンライン授業では通常の授業に比べると強制力が少ないため、どうしても集中力が切れやすくなってしまう。私は、自分の部屋でもオンライン授業に集中できるように、趣味のものなどが視界に入らないよう勉強に集中できる環境づくりを心がけた。また、私が今回このオンライン留学プログラムに参加させて頂いた理由は、いつか渡航型の留学プログラムに参加させて頂きたいからであった。オンライン留学で自分の英語力を伸ばすことができれば、渡航型留学への道が少し近づくかもしれないということをモチベーションとして、毎日のオンライン授業に臨んだ。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
今まではスピーチやディベートなど事前に準備したものを述べることしかできなかったが、この 3 週間を通して、その場で聞かれたことにすぐに答えることに苦手意識がなくなった。毎日様々な話題について、先生があらゆる角度から質問して下さり、それに必死に答えようと努力したからこそその成果であると感じる。とても有意義な 3 週間であったが、留学プログラムが終わり、急に英語を使わなくなると、せっかく伸びた英語力も衰えてしまうため、これから先も何かしらの形で毎日英語に触れる時間を作りたい。そして、英検や TOEIC などにも挑戦し、大学在学中に渡航型の留学プログラムに参加させて頂きたい。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン留学プログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私が今回のプログラムでの成果は英語力の向上である。今まで外国の方と英語で話したことがなかったのでとても貴重な経験になったと思った。今回私が経験したプログラムはオンラインではあったが一日5時間みっちり英語を話す授業であったので、とても力がついたと思う。中でもリスニング能力は特に上達したなと感じた。三週間のプログラムであったが初日と慣れてからでは先生の言っていることへの理解度が全然違うと思う。また自分の考えたことを英語で話す能力も劇的に成長できたと感じた。なれてくると文法的にも正しく話そうと心がけることができるようになり、相手にも伝わりやすくなったと思う。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私が経験したプログラムはオンラインのため現地の学生と交流する機会はなかったが、現地の先生がフィリピンの生徒のことも話してくれたため、少し知ることができた。また、こちら側の参加者複数名とフィリピンの先生1人による授業があり、その授業では日本人の他の学生のことでも知ることができたし、またたまたま私の班には他の国からの留学生の方もいたのでその国のことも知ることができた。また文化的な面で言えば、フィリピンの食事には驚いた。先生から写真を見せてもらい、こんなものを食べるのかと、少し衝撃を受けた時もあった。オンライン留学とはいえ向こうの文化はたくさん学ぶことができたと思う。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私がオンラインプログラムで感じたメリットは、日本にいながらも高度な英語を学ぶことができる点にあると思う。授業してくれるにはエンデラン大学の英語の先生などで、日本にいながらも高いレベルの英語を学ぶことができた。また比較的通常の生活が送れるのでアルバイトをしながら研修を受けることができたのでよかったと思う。デメリットは日本にいるので実際の現地の様子を肌で感じることはできないことだと思う。やはり今回の研修で実際に行ってみたいという思いがよりましたと思う。また通信トラブルがたまに起きてしまうこともあるのも大変であった。</p>	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
<p>私の中での今回のプログラムでのモチベーションは1日1日でより流暢に英語を話せるようになりたいということであった。また先生と話しているうちにお互い笑いを取れるくらいに英語を使いこなそうと頑張った。時差はほとんど感じなかったのだが朝の9時スタートなので少し朝がきついかなどは感じた。先生とマンツーマンで会話をしていく授業があったのだがその授業ではただ先生が話してたまに質問に答えるだけだと授業になってしまうので、自分から話したり質問をしたりしてしっかり会話を英語で成り立たせるようにすることは意識をした。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今回のオンライン留学プログラムで身につけた英語力を維持、またさらに発展させていくために、これからも英語の学習は積極的に続けていきたいと思った。具体的には英語のビデオを見てリスニングの能力を上げていきたいと思った。今回はオンラインプログラムであったので実際に他国に行って現地の雰囲気を感じながら英語や他国の雰囲気を学びたいと思った。今回のエンデラン大学短期オンライン留学プログラムをこれからさらに英語を学んでいくためのきっかけにしたいと思う。まずはTOEICを受けて現在に自分の英語力を再確認したいと思う。</p>	
<p>【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。</p>	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン留学プログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
今回のプログラムでは午前に講師と1対1で3時間のアクセント練習、午後にグループでのスピーキングの授業を行った。午前の3時間の授業が私の英語能力を飛躍的に向上させた。アクセント練習や発音記号は普通の授業では学ぶ機会のないことを丁寧に解説されたことによって英語を深く理解することができた。また、私は会話をしている中で話すことがなくなってしまい、会話を広げることができなかったが、毎日ひたすら会話しているうちに話す内容が少しずつ増えていき、以前よりもコミュニケーション能力も向上した。今回学んだ内容を忘れないように復習することで今後の勉強にも活かしていきたい。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
文化交流の際には、フィリピンの歴史や文化について話を聞くことができた。事前知識としてフィリピンはアメリカ、スペインに侵略された歴史を知ってはいたが、今回学んだことでより、文化への理解が深まった。戦争時には旗を裏返して表示することや歳上の人には尊敬の念を込めて普段とは異なる挨拶をするなど興味深い文化があることを知った。また、自分の文化を紹介する中で「初めて知った」と言われるのは嬉しかった。私の担当の学生は日本の文化をとて理解していたが、箸のマナーの質問をされた際に、「ご飯に箸をさしてはいけないのは文壇への供物をイメージするからだ」と言うとても驚きながら納得してくれた。実際に日本に行った際に箸のマナーで注意を受けたことがあるとも言われた。このことから私は自分の文化についてよりわかりやすい説明できる様にもっと英語を学びたいと思った。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
メリットは費用など様々な個人的不安要素を考慮にいれずに純粋に研修に参加できることである。私も家は裕福という訳ではないので研修費や飛行機代に不安があったが、オンラインであれば勉強に集中することができる。また、わからない単語をネットですぐに調べられるのも良いところである。私は講師がチャットに打ち込んだ単語を翻訳にかけて英語を覚えていった。デメリットとしては通信が遅く、声が聞こえづらいことである。実際に、授業中に何度も映像が止まった。だが、5分か10分ほどで戻ってくるので、休憩時間だと考えればこれもあまりストレスにはならなかった。	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
モチベーションはテストでだいぶ保たれた。私はテストなどの競争ごとがあると100点を目指したくなる性分なので週1でテストでの良い成績が目標となり、頑張れた。そもそもオンライン授業の中でも特にハードであるエンデラン研修に参加する時点でやる気に満ちているのではないだろうか。だがたしかに後半は少し疲れてしまったので担当の先生と喋る中で相談に乗ってもらったりもした。1日7時間以上寝たことでリフレッシュできていたのかもしれない。また、グループ授業では周りの人の方が自分よりも英語ができることで落ち込んだりもしたが、人は人、自分は自分のペースで英語はできる様になっていくのだと考えたら気が楽になった。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
参加前はなんとなく英語を一切使わない日本企業への就職を希望していたが、今回研修に参加したことで英語を話すことに抵抗を感じなくなったので外資系の企業も考慮にいたれなくなった。また、今回研修に参加したことでもっと豊富なボキャブラリーが必要なだけでなく、簡単な文法を実際に会話の中で落ち着いて使う必要もあると痛感したのでより英語学習を「ネイティブとの会話ができるようになる」という明確な目的を持って行って行きたい。「英語を話すのは楽しい」と久しぶりに思いながら研修を行うことができたので今後もコロナ禍で海外にいけなくても、積極的に国際ボランティアに参加するなどして英語を話していきたい。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	2022 年度夏季 エンデラン大学オンラインプログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
午前中はマンツーマンで発音やアクセントの練習と特定の話題についての会話、午後はグループで日常で使えるフレーズを実践を交えながら教わった。一日5時間常に英語をきいていることになるためリスニング力が向上するほか、よりネイティブに近い英語の発音が身についた。私が最も大きな成果だと考えているのは、臆することなく英語を話せるようになったことである。正直正しい文法が身についたかといわれるとそうではないが、講師の先生がなんとか私の英語を理解しようとしてくれたのもあって、間違ってもいいからとにかく話そうという考え方がなれた。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
プログラム全体を通して2回現地の学生と交流する機会があった。向こうの学生はスライドを作ってフィリピンの衣服や食文化、地理や国家体制について詳しく話してくれ、反対に私たちが話す日本の文化についてもかなり興味を持って聞いてくれた。漫画やアニメの話はもちろん、最近流行っている食べ物や人についての話が特に盛り上がった。年齢の近い学生と会話することで、同じ年代であっても住んでいる国によってどれほど生活が変わるのか、また逆にどのあたりが似ているのかを知ることができて有意義な経験だった。改めて自文化を見直し、海外の人が聞きたい内容、盛り上がる内容を把握できたことが収穫だ。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
オンラインならではの便利な機能の恩恵はかなり早い段階から感じた。例えばお互いに自国の文化の詳細を話すときによくわからない、想像できない単語が出てきた際は画面共有をして自分の画面を相手に見せることで理解が深まってよかった。また単語を聞き取れなかったときにチャットボックスを使えたことも便利だった。デメリットとしてはときどき先生の電波が悪くなることに加えて、画面越しでは口の動かし方がよくわからないことがあげられる。発音練習をメインとする授業では口の動かし方が重要になってくるが、オンラインでは細かいところがわからないのは残念だった。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
留学先がフィリピンであったため時差は1時間しかなく、お互いに時間の面ではストレスを感じずにいられたと思う。授業が終わったら家にいられて普通の生活が送れる、というオンライン留学の特性が無理せず留学を続けられた要因の一つだと考えている。実際に海外で生活できる派遣型の留学ではもちろん貴重な経験を得られると思うが、慣れないうちはストレスが多く100パーセント授業に集中することは難しいだろう。その点オンライン留学では一日5時間の短期集中で授業が終わったら、あとはいつもどおり生活することができる。いつもの「日常」が確保されているという。リラックスした生活は授業に臨む態度にもいい影響を与えると思う。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
毎日英語を話さざるをえない環境におかれたことによって英語に対する苦手意識はかなり薄らいだ。成績通知書の中で何人かの先生がおっしゃっていたように、会話で使える単語やフレーズに関する知識が圧倒的に足りないのが当面はそこを磨いていきたい。留学が終わったらそこで終わりにするのではなく、留学をきっかけに学び続けていかなくてはならないと強く感じた。まずは自分の能力がどのくらい向上したかを知るために、近いうちにTOEICを受験してみるつもりだ。また、留学に対する憧れも強くなった。もともといつか長期の留学をしたいからそれに慣れるために今回のプログラムに申し込んだが、今回の留学でただ漠然と行きたいと思っているだけでなくそこに向けての準備をしていく必要があると感じた。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学英語発話力向上プログラム オンライン (3 週間)
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今回このプログラムへの参加を決めた理由は英語力の向上、特に苦手意識のあるスピーキングとリスニング力を集中的に鍛えるためであった。以前から長期留学に興味があったが、英語圏への渡航経験はなく日常的に英語を使うこともないため自力で会話を伸ばすことに難しさを感じていた。そのためプログラム参加前は少しでも英語を正しく流暢に使えるようになることを目標としていた。しかしこの3週間で実際に得た成果は想定外で、しかも最も重要な態度であった。それは堂々と間違える、ということである。小さなミスを恐れ間違わない努力をするよりも、相手と共に良いコミュニケーションを作ろうとする意識が自然と私の英語力を向上させていたように感じる。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>今回のプログラムには英語の授業の他に2時間、現地の学生と互いの文化を紹介し合う異文化交流の時間があった。この交流の中で日本人学生の自分とフィリピンの学生の間にはいくつもの違いがあることがわかったが、その違いは話を聞けば聞くほど、自分が相手を理解しようとすればするほど面白くなっていくことを実感した。私は正直、プログラム参加前はフィリピンという国そのものにはそこまで興味がなかった。私にとっては外国のひとつでしかなかった国についてしれば知るほど、もっとフィリピンの細部を見たい、その国を実際に肌で感じてみたいという思いが強くなった。思わぬところへ視野が広がった。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>メリットは実際に渡航するプログラムより大幅に参加費を抑えられる点と、日本での日々の生活ペースを崩さず留学体験ができることである。特に金銭的に安いという点はこのプログラムを選んだ最も大きな要因であった。もちろん渡航プログラムにも興味はあったが、それらの多くは金銭面で現実的ではなかったため諦めざるを得なかった。経済的な事情で渡航が困難な自分にとってオンラインプログラムは絶好のチャンスであった。またプログラム中は昼間は留学、夜はバイトのシフトを入れることができたのも大きなメリットだった。一方オンラインで語学留学となると一日中デスクに座りパソコンの画面に向かって話つけないといけないため心身ストレスが溜まった。</p>	
オンライン授業への臨み方(時差・コミュニケーション)としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前、参加中、参加後にプログラムが提供しているテストや自身で利用しているオンライン英会話のレベル確認テストを受けたことがモチベーションアップに役立った。プログラム期間は英語力が向上しているような気はしていたが、実際に点数として表され、向上していることが目に見えることで自分の参加態度や日々の学習が確実に自分のものになっていると確信できた。毎日同じスケジュールでプログラムをこなしているとどうしても慣れが生じて手を抜きがちになることがあったので、そのようなタイミングで改めてスコアを確認し気持ちを高めていた。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム参加前は「英語力を伸ばす」と意気込んでいたが、実際参加してみると英語を勉強するものではなくより良いコミュニケーションを作るための道具として認識できるようになった。本来の目的であった長期留学への憧れはより一層強くなり、そのためにはこれからも積極的に英語力を伸ばす努力をしなければいけないが、今ではそれだけでなく英語を使ったコミュニケーションをもっと楽しみたいとも感じている。英語への捉え方が変わると、大学が開催している英会話カフェや日常的な交流を含め、自分の周りには実は英語を使うチャンスが多くあったことに気づいた。英語を“分かる”ものから“使える”ものにするため、まずは国内でもできることにチャレンジして行きたいと思う。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします(学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません)。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学オンライン英語プログラム
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
午前中のマンツーマンレッスンでは正しい英語の発音を学びました。最初は日本語ではあまり使わない発音に苦戦しました。特に口の開け方の違いによって発音が変わる g と j や、舌の位置によって変わる l と r の発音が難しかったです。何度も苦手な発音を練習するうちに、意識しなくてもすらすらと英語の文章を読めるようになりました。また、午後のグループレッスンでは海外に行ったときに使えるような会話を練習したり、動画を見て自分の意見を述べたりしました。環境問題や格差社会といった世界情勢について考えるきっかけとなり、新たに多くの視点から物事を捉える力がついたと思います。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
現地の学生と交流することで、フィリピンと日本の共通点や相違点を感じることができました。また、フィリピンの伝統的な祭典や食生活、ファッションや観光名所などに興味を持って調べるようになりました。同時にフィリピンにはない日本独自の伝統や行事を伝えるため、どのような言葉を使って説明するとわかりやすいかといった相手の立場になって考えて英文を組み立てることができるようになったと思います。日本の国旗や行ってみたい国の国旗について、どのような意味を持つか、またどのような歴史を読み取ることができるかといったことを考えるきっかけになりました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
メリットとしては自宅で受講できるため、普段学校に行くときと同様の生活習慣を保てることです。1 限目が 9 時から始まるため、その前に前日の復習をするように心がけていました。授業でわからないことがあると、近くにある自分の教科書を取り出して調べることができる点も、自宅で受講できるオンライン留学ならではのメリットだと思います。デメリットとしては、インターネットの回線が悪くなると映像が止まったり、声が届いていなかったりすることがあったことです。そのときは講師の方と直接英語で状況を話したり、グループレッスンの時はチャットでコメントしたりして解決しました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
オンライン授業の回数を重ねるごとに日本語から英語に変換する時間が短くなり、スラスラと英語で会話ができるようになったことです。初めは語彙力がなく、なかなか日本語で考えたことを英語に変換することができずにもどかしく思っていたのですが、授業が進むにつれて新しく単語を覚えることができました。新しく学んだ単語や英語ならではの表現を会話の中に取り入れることで、自然と使えるようになったと思います。また、苦手な発音を授業前に数分間練習することで次第に意識せずに発音ができるようになり、講師の方に褒められることが多くなりました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
プログラム前の目標として、リスニング力を向上させることや明快地意見を述べることを挙げていました。マンツーマンレッスンで一つ一つの発音を改善することで、英語が聞き取りやすくなりました。また、グループレッスンで動画を観て意見を述べたり、日本や海外の文化について即興でまとめたりすることで英語力が向上したと思います。リスニング力やライティング力など、今回のオンライン留学を通して学んだことを持続していくために、毎日英語を聞いたり英語で文章を作ってみたりすることが大切だと感じました。これからは海外のニュースに興味を持って聞くようにしたり、洋楽を聴いて英語耳をキープしたりしていきたいと思いました。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学 夏季オンライン留学
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラムでは英語の発音について重点的に扱ったが、その内容の多くは中学高校、大学の英語の授業でも習わないようなものだった。例えば破擦音と摩擦音の違いである。J と ZH という二つの音について、自分は今まで違いを感じたことすらなかったが、授業内で別々に説明されて初めて、似ているが異なる二つの発音だということを知った。すぐに完ぺきにコピーすることはできなくとも、意識したことすらなかった点を知ることになったことは、正しい発音を身に着けるうえで非常に大切だと感じる。</p> <p>また、マンツーマンの3時間セッションに加え、先生が授業でたくさんの動画や音楽を使用してくれたおかげで、英語のコンテンツ自体に対する抵抗感が薄れたことも、今後の英語学習のための大きなアドバンテージとなった。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250~300 字程度)	
<p>プログラム期間中に、自分がインターンに申し込んでいた企業の面接があった。初めての面接だから少し不安なのだと先生にこぼしたところ、「授業時間外でもよければ、模擬面接をやってみよう」と申し出てくださった。先生自身、別の職で面接官をした経験がなかったので、その時に相手の何を見ていたか、どのような回答を求めているのかなど、例も含めて詳しく教えてくださった。実際の企業の面接は先生との模擬面接よりもずっと短く、内容も簡単で、しかももちろんやり取りは日本語だったためリラックスして臨むことができた。英語での面接はかなり難しく十分にこたえられないこともあったが、この経験があれば、この先の面接も、日本語で意思疎通ができるはずとやりやすいと思えるだろう。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250~300 字程度)	
<p>オンラインのメリットは、授業後の時間を好きなようにつかえることである。普段の自分のペースを保ちながら学習を進められた点はとてもよかった。</p> <p>一方デメリットは、会話中に発生する数秒の時差である。プログラムが始まる前はこの時差をそれほど大きな問題だとは感じていなかったが、会話において、この遅れが生じることで、自分の発言に相手の発言がかぶってしまうことがかなり頻繁に起きた。自分も相手も聞き取れずに同じことを繰り返したり、聞き返したりすることは、地味だがフラストレーションがたまる。発言が重なった場合、つい相手を優先して自分は聞き手に回りがちである（英語に自信がなければなおさら）が、自分でも積極的に繰り返し発言していく姿勢が必要だと感じた。</p>	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。(250~300 字程度)	
<p>前日までの授業で習った言葉や、授業後に見た映画・聞いた音楽の中で使用されていた言い回しを実際に使ってみる。1本の動画・音楽の中で、使えそうと思った言葉を1つメモし、ひたすら繰り返して覚える。会話の中でそれが使えそうな場面が出てきたらすかさず口に出し、相手の反応を確認する。新しいことを覚えただけでなく使えるようになったということが自信につながるし、実際の会話で役に立つことを実感できるため、新しい言葉を覚えることが苦ではなくなる。YouTubeなどで英会話フレーズを紹介する動画を数本見れば、類似した動画がお勧めに出てくるため、自然とそれらの動画を見る頻度も増えた。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250~300 字程度)	
<p>自分はこの3週間の研修において、英語力自体を伸ばすことよりも、英語学習に対する抵抗感を減らすことを目標としていた。自分は来年、海外でホームステイを行うという目標がある。ホームステイ先から内容まですべて自分で段取りを組まねばならないが、英文・英会話に対する抵抗感が薄れたこと、そして何より先生に背中を押してもらったことで、現在進行形で計画を進めることができている。また、具体的な英語学習法として洋画を英語字幕で見ることを大変強く勧められたので、実践している。ワンシーンを理解するのに膨大な時間がかかるが、とりあえず1本通して見切るのを当面の目標にしようと思う。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2022 年夏季
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300 字程度）	
発音、ライティングなどの基礎的なスキルはもちろん、最も重要なのは、実践するのが非常に難しい「伝える力」だと思います。というのも、試験では論理性や説得力が重視されますが、必要な社会性やコミュニケーションスキルはほとんど練習されないからです。自分の主張を話すとき、どのように言えば相手の興味を引くか、どのように言えば相手が自分のことを理解してくれるか、相手がどのような話を聞きたいかによって、どのような内容を強調し、どのような内容を隠すか、創造性、コミュニケーション力や社会性に非常に役立つスキルは、よく鍛えられると思います。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。（250～300 字程度）	
表面的なことしか話さないだろうと思っていましたが、たった2回の文化交流で、フィリピンについて多くのことを学びました。さまざまな社会問題について意見を交換したことが、私にとって非常に貴重な経験になりました。様々なトピックに対する彼らの視点は、私にインスピレーションを与えてくれただけでなく、全く異なる環境の人々と交流する経験を与えてくれた。フィリピンという国がいかに素敵な国であるかを知ることができたのは素晴らしいことで、心から感謝しています。プログラムに参加し、望んでいた異文化コミュニケーションの精神を感じました。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（250～300 字程度）	
オンライン授業で不便を感じることはなかったです。授業が早い時間帯にあり、家ですぐに準備できるため、とても便利だと思いました。次に、授業中にわからないことがあったときに、インターネットで検索できるのも効率的だと思います。唯一不便だったのは、同じレッスンの中でもう一人の先生が4回変わるの、自己紹介を4回しなければならぬという問題で、このような先生の交替は学習の進捗に影響すると思います。自分にはなかったことだが、向こうはプロの養成機関なのに、先生がネットトラブルを起こし続けたため、他の生徒が授業時間を変更したことが多くありました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（250～300 字程度）	
時差が1時間しかないので、大きな問題にはならないと思います。プロジェクトに参加した以上、すでに一定のモチベーションはあると思うのですが、留学や語学習得のモチベーション以外には、個人的にはまったく違う環境の人たちと第二言語でコミュニケーションできることがとても興味深く、自らの学習意欲が高まりました。強いて言えば、授業中で通訳を使わず、レッスンの直後に、うまく言えなかった、「惜しい」と思う部分を反省し、正しい言い方を考えた上、次の日に先生に伝えると、先生に喜んでもらえるだけでなく、自分もモチベーションが上がります。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
元々フォーマルな場面でネイティブスピーカーの言葉のニュアンスを理解し、自分から発信する力を特化したいと考えているため、発話力に重心をおけたエンデラン大学オンライン英語プログラムに参加しました。関心がある話題について専門性のある語彙を学び、そのテーマについてさらに掘り下げて考えを理解しやすく述べるなど、望んでいた国際的なイベントに参加する前に克服しなければならない課題を解決しました。これからは、コミュニケーション能力をさらに強化し、「正しいことを言う人」を目指すだけでなく、「話したくなる人」になりたいです。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2022 年夏季
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300 字程度）	
<p>英語の正しい発音方法や英単語の微妙なニュアンスの違いを理解することができました。英語を、英語を使って理解するので、よりネイティブに近い英語を学ぶことができるのは留学の大きな効果だと感じました。また、英単語の意味を英語で説明することで理解がより深まったので、これからの勉強に活用していきたいと思います。また、これは数字で可視化することができませんが、自分が無意識に英語を話すハードルを上げていたことに気が付きました。このプログラムは、英語を話す機会がたくさんあり、先生方がじっくり時間をとって私の話を聞いてくださりました。それによって、英語を話すことへの恐怖心が薄くなったと感じています。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。（250～300 字程度）	
<p>オンライン留学では現地の学生と zoom をつないで、文化交流を行いました。フィリピンの人口や歴史だけでなく、国鳥や国花などの詳しいことまで知ることができました。フィリピンのことについての基本的なことは調べていたのですが、現地ではやっていることや人気の日本のアニメなどはインターネットなどでは得られない情報でした。日本のことについても詳しく調べて臨んだのですが、日本独自の文化を英語で伝えることはとても難しかったです。私は長期留学を希望していて、今後も多くの外国の方と交流したいと思っています。今後日本の文化について聞かれたときのために、練習をしておくべきだなと思いました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（250～300 字程度）	
<p>メリットは、英語を話す機会を大幅に増やすことができたことです。日常生活で英語を学ぶことはあっても、話すことはほぼありません。また、英会話などに通っても話す時間はせいぜい一週間に二、三時間くらいでしょう。長時間会話することで、英語を英語で理解するという、英語を流ちょうに話すにあたって大切な力が少しだけ身についた気がします。</p> <p>デメリットはありましたが、オンラインなので仕方がないと思われる点でした。発音を練習する講義があったのですが、どうしても正しく聞き取れなかったり、先生に伝わらなかったりすることがありました。また、もっと負荷をかけたい人は現地留学をお勧めします。土日のお休みを挟んでしまうと感覚が鈍ってしまいました。</p>	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（250～300 字程度）	
<p>すべて日本時間で説明や表記をしてくださったので、あまり時差でのトラブルが起こることはありませんでした。また、時差といっても一時間程度だったので生活リズムへの影響も少なかったです。</p> <p>どんなに下手でたどたどしい英語でも、先生は最後まで聞いてくださり、たくさんほめてくださったので、最終日まで意欲を保ったまま参加することができました。また、私はうまく自分の言いたいことが英語で伝えられないことに対してすごく悔しい思いをしました。先生や同じグループの人に、自分の思っていることを伝えられるようになりたいというのが私の英語学習の原動力でした。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
<p>私はもともと長期留学を希望していました。この留学はその前段階として、英語を話すことになれることを目標に取り組みました。プログラムを通して英語を話せるようになるためには、たくさんアウトプットが必要だということが分かりました。今までは単語を覚えたり、文を読んだりすることを英語の学習の主としておいていました。しかし、それでは英語での会話はうまくいかないことを実感しました。今後の英語の学習として、今までの勉強に加えて、英会話や洋画を見るなど実用的に英語を使えるようなものを組み入れていきたいと思っています。今後の目標はプログラム参加前とあまり変わっていません。これからも長期留学のために準備を進めていきたいです。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

明治大学 2022 年度 国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）2022 年夏季
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300 字程度）	
<p>今回のプログラムで英語の発音と、特定の場面で使える表現、またフィリピンの文化を学ぶことができました。具体的に発音の指導では IPA を習いました。自分は日本語に用いられる IPA を学んでいる最中のため、英語に用いられるものとの違いがおもしろいと感じました。また、英語で特に苦戦する二重母音、三重母音についても慣れ、読み方のパターンを学べました。特定の場面で使える表現では、毎日ある状況に置かれたとして、そのときにどういった表現を使うのかを教わりました。ペアを組み、実際に再現して表現を使う活動をしました。文化について特に記憶に残っているものは成人式です。フィリピンでは 18 歳に女の子が着飾りダンスをするというのが面白いと感じました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。（250～300 字程度）	
<p>現地の学生との活動において、フィリピンの慣習と留学するにあたりよく話すテーマを学びました。フィリピンの国旗の色や柄がどのような意味を持つのか、国の鳥や木について最初の活動で教わりました。その際に感じたことは、自分の国について同じように説明しようと思った時にできないなと感じ、もし自分から日本を発信するなら形式的なことからも話せるようにしなければいけないと思いました。また、お互いの国で人気の文化について話す機会が多く、このテーマについてはいつも気を張り、話せるようにしないといけないなと思いました。また常識の違いというものも実感しました。私たちは兄弟が 3 人いれば多いとみなしますが、フィリピンではその 2～3 倍いる人も多いというので驚きました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（250～300 字程度）	
<p>メリットとしては、特別な準備が必要ないことです。家から参加できるという点で特別な持ち物等の準備や、学習環境に気をかけることなく取り組むことができました。また、先生が分からないところをタイピングし、つづりを教えてくれたり、文化の交流において写真を共有したりすることができるため、便利と感じるが多かったです。デメリットとしては通信環境が挙げられます。今回経験したのは、担当してくださった先生の通信環境があまりよくないもので、声が聞きとりづらい、ノイズが入ったりすることがありました。また、クラス入室しているのにも関わらず、先生から私の声が聞こえない、再入室の必要があることがあり、大変でした。</p>	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（250～300 字程度）	
<p>授業で自分の意見や経験を話すときに、相手の意見・経験を聞けるのが楽しかったです。食べ物や衣服、流行について互いの知らないこと、相違点を発見していくことはとても面白く、次の回を毎回楽しみにしていました。また家から参加できたため、家族今日分かったこと、面白いと感じたことを共有することもモチベーションアップにつながりました。このことを通じて、自分は昨日よりも知識が増えたと感じることができ、明日も頑張ろうという気持ちになりました。日本人留学生と英語のコミュニケーションをすることで、みんな同じように頑張っていると感じ、その時間が励みになりました。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
<p>プログラム参加前、私はリスニングやスピーキングに自信がなく、今回参加した目的はこれらの能力の改善だったのですが、参加後は自分がうまく話せているかに心配することがなくなりました。リスニングに関して、わからなくても聞き返せばよいし、つたなくとも自分の意見が伝わればよいという風に思うようになりました。このように感じたことはこのプログラムの中で英語を自分がある程度理解できるようになったからであるし、話すことを臆することがなくなったからだと感じています。そして今までは長期留学を考えていなかったけれども、前向きに考えるようになりました。今回このように変わることができたから、自分をもっとやれるという自信が付き、さらなる語学の向上に努めようと思うようになりました。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	